allcinema

愚か者の船（1965）

SHIP OF FOOLS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 149分
初公開日 1966/10/05
公開情報 ＣＯＬ

【解説】

６２年に発表された長編小説『愚者の船』を「ニュールンベルグ裁判」のメイン・スタッフが映画化。内容は１９３３年のある日、メキシコのベラクルスからドイツのブレーメルハーフェンに航海したドイツ客船、ベラ号の船上の人々の物語である。ある者は肉欲に、ある者は金に醜い姿をさらけ出す。ある男女は閉じられた未来を激情の中に忘れ、ある娘は開かれた未来の中に歓びを探し求める……。欲望と虚飾、愛情と軽蔑、セックスと背徳、狂信と忍耐、饒舌と沈黙、生と死、善と悪、好奇心と無関心、そして喜劇と悲劇が交錯する。登場人物が多彩な、いわゆる“グランド・ホテル形式”の映画で、ヒットラー政権が誕生した３３年の物語というためであろうか、「ニュールンベルグ裁判」同様、白黒撮影である。しかし、原作に縛られて映画として大胆に昇華できず、船上という世界と隔離されたニュアンスが生かしきれていない無念さが残る。タイトルの由来は、小人の船客が船上の面々を自分をも含めて皮肉ったもの。アカデミー賞では８部門で候補になり、撮影賞と美術監督賞を受賞した他、Ｏ・ウェルナーがＮＹ批評家協会で、Ｌ・マーヴィンが本作と「キャット・バルー」の演技によりナショナル・ボート・オブ・レヴューと英アカデミー賞で主演男優賞を受賞。なお、Ｖ・リーの最後の出演映画でもある。

【クレジット】

監督	スタンリー・クレイマー	Stanley Kramer	
製作	スタンリー・クレイマー	Stanley Kramer	
原作	キャサリン・アン・ポーター	Katherine Anne Porter	
脚本	アビー・マン	Abby Mann	
撮影	アーネスト・ラズロ	Ernest Laszlo	
特殊効果	アルバート・ホイットロック	Albert Whitlock	
編集	ロバート・Ｃ・ジョーンズ	Robert C. Jones	
音楽	アーネスト・ゴールド	Ernest Gold	
出演	ヴィヴィアン・リー	Vivien Leigh	メアリー・トレッドウェル
	シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret	伯爵夫人
	ホセ・ファーラー	Jose Ferrer	ジーグフリート・リーバー
	リー・マーヴィン	Lee Marvin	ビル・テニー
	オスカー・ウェルナー	Oskar Werner	ウィルヘルム・シューマン船医
	エリザベス・アシュレイ	Elizabeth Ashley	ジェニー
	ジョージ・シーガル	George Segal	デヴィッド
	ホセ・グレコ	Jose Greco	ぺぺ
	マイケル・ダン	Michael Dunn	グロッケン
	ハインツ・リューマン	Heinz Ruhmann	ローウェンタール
	チャールズ・コーヴィン	Charles Korvin	ティーレ船長

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

リリア・スカラ	Lilia Skala
バーバラ・ルナ	Barbara Luna
クリスティアナ・シュミットマー	Christiane Schmidtmer
アルフ・シェリン	Alf Kjellin
ワーナー・クレンペラー	Werner Klemperer
ジョン・ウェングラフ	John Wengraf
ギラ・ゴラン	Gila Golan

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.